

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	北上市コミュニティバス運行事業 (地域活性化措置)	岩手県電源立地地域対策交付金交付事業(北上市コミュニティバス運行事業)	北上市	10,898,000	5,022,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	北上市コミュニティバス運行事業（地域活性化措置）	岩手県電源立地地域対策交付金交付事業（北上市コミュニティバス運行事業）	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北上市	
交付金事業実施場所		北上市内	
交付金事業の概要		<p>公共交通機関がない地域に住み続けられるためのセーフティネットとして、2系統、1日4往復を週2日、通院、買い物等に安心してもらえるようコミュニティバスを運行した。また、飯豊立花黒岩線について、更木地区内の一部へ路線を延伸し更なる利便性の向上を図った。</p> <p>運行日数 述べ192日                      飯豊立花黒岩線 月・木運行                      二子更木線 火・金運行                      ※祝日、お盆（8/13～16）、年末年始（12/29～1/3）は運休</p>	
総事業費		10,898,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分 5,022,000 (0) (0)
交付金事業の成果目標		コミュニティバスの運行により、市内北部の交通空白地域を中心に年間約23,000人の利用を見込み、マイカーを持たない人の通院・買い物等の生活機能の確保や高齢者の交通事故防止が図られるとともに、人口減少、少子高齢化を踏まえた都市の中心拠点や生活拠点において、人・モノ・情報の活発な交流を促し、各地域と都市全体が有機的に結びつく持続可能なまちの確立が期待される。	
交付金事業の成果指標		年間利用者数：23,000人	
交付金事業の成果及		平成28年度利用者数は、2路線合わせて対前年比9.8%減の19,762人となった。	

び評価	利用者減の要因として、コミュニティバス運行地域の人口減少による影響等が考えられるため、今後は各運行地区において、毎月の利用実績を共有するとともに、より一層の利用促進に向けた意見交換の場を設ける等、利用者が増加するような事業を進めていく。
-----	--

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	北上市コミュニティバス運行事業補助金交付	随意契約	岩手県交通株式会社	10,898,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。
  - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
  - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
  - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
  - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。